

青少年 とちぎ

令和6年3月1日

第224号

CONTENTS

- 1 青少年育成セミナー
- 2 2023「家庭の日」絵日記コンテスト結果
- 4 栃木県青少年育成県民会議表彰
- 5 県民会議表彰優良青少年団体の紹介
- 6 市町村民会議活動報告
- 7 栃木県青少年育成指導員会第2回自主研修会
御寄附いただきました
- 8 令和6年度県民会議事業予定
県民会議賛助会員感謝状贈呈



栃木県青少年育成県民会議
シンボルマーク

【発行】栃木県青少年育成県民会議（公財）とちぎ未来づくり財団青少年育成課
宇都宮市本町1-8 TEL028-643-1005 FAX028-650-5284 URL: <http://www.tmf.or.jp> E-mail: ikusei@tmf.or.jp

青少年育成セミナー

本セミナーは、青少年を様々な角度から見つめ、大人としてどのように向き合っていけばよいのかを、講師を交えて考えることで青少年育成活動の一層の充実につなげるとともに、青少年の自立を支え社会への参加を促すための大人の役割を見直す機会とするため、昨年度から実施している事業です。

第1回は、11月30日（木）にとちぎ青少年センターをメイン会場にオンラインも併用する形で開催し、会場、オンラインの合計で77名の参加をいただきました。また2回目は1月30日（火）に栃木県総合文化センター特別会議室を会場として実施し、対面のみで開催としたにもかかわらず74名の参加がありました。

第1回 「こどもまんなか社会の実現に向けて

－こども家庭庁の発足とこども基本法の施行について－

こども家庭庁長官官房 参事官（総合政策担当） 付
こども意見係 遠藤 輝人 氏

令和5年4月に「こども家庭庁」が発足しました。同時にこども基本法が施行され、すべての子どもが将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して動き出しました。コロナ禍を経て、様々な問題や課題が見え隠れする現代社会において、こども家庭庁の目指す方向性やこども基本法の中身について、詳しく解説していただきました。子どもの意見を聞き、政策に反映させる「こども若者★いけんぷらす」の取組や、こども基本法に基づき、幅広いこども施策に関する今後5年程度を見据えた中長期の基本的な方針や重要事項を一元的に定めるこども大綱の検討状況について説明を受け、理解を深めることができました。



【11月30日(木)実施】

第2回 「とちぎの子どもたちの未来のために －第3の居場所づくりの現状から－

認定NPO法人「だいじょうぶ」理事長 畠山 由美 氏

コロナ禍を経て、「生きづらさ」を感じる子どもたちが以前にも増して多くなっていることが懸念される今日、家庭でも学校でもない「第3の居場所」の必要性が注目されています。長年にわたり困難を抱える子どもや家庭に寄り添い、心身の「居場所」を提供してきた畠山氏から実例を交えてご講演いただきました。

「無い支援は作り出す」をモットーに、食事作りや沐浴指導、掃除、病院や検診の同行など、多岐に渡る支援を行ってきた事例が紹介されました。当事者に寄り添った支援を行うことで家庭が家庭としての機能を取り戻し、子どもたちが生きる活力を得ていく姿が紹介され、子どもが安心して過ごせる環境を作り出すことは大人の責任であることを改めて考えさせられた講演となりました。



【1月30日(火)実施】

優良賞



阿久津 柊色さん
「いもうとのえがお」



石島 大翔さん
「まほうのて」



小林 未旺さん
「やさしいがかり」



白川 結理さん
「かぞくのあてがみ」



平野 葵子さん
「お父さんとのこうかん日記」



笹沼 陽さん
「おとうさんとはあったよ」



片柳 陽向さん
「弟は、かいじゅう」



宇賀神 葵彩さん
「はじめてのおんぶ」



大場 翔太さん
「家族の時間」



前島 舞葉さん
「家族パーティー」

栃木県青少年育成県民会議表彰

令和5年11月16日（木）に栃木県公館で「令和5年度栃木県青少年健全育成功労者等表彰式」を開催しました。

栃木県青少年健全育成表彰、「家庭の日」絵日記コンテスト入賞者表彰とともに、栃木県青少年育成県民会議表彰を執り行いました。

このうち、栃木県青少年育成県民会議（（公財）とちぎ未来づくり財団）より表彰された方々は以下のとおりです。（五十音順、敬称略）

栃木県青少年育成県民会議表彰

明日の栃木県を担う青少年の健全育成を促進するため、「とちぎの子ども育成憲章」の理念に沿った活動をもって、青少年の育成に功績のあった、個人及び団体を表彰しました。

子ども育成・憲章功労者

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 相澤 真吾 | 青木依久子 | 五十嵐幸男 | 石塚 龍夫 | 宇塚 寿明 | 大島 敏秋 |
| 大根田和義 | 遅沢 陽 | 小野口 弘 | 片柳 義隆 | 金子 卓司 | 神長 幸司 |
| 岸 佑一 | 桐生 克己 | 熊谷 健治 | 島田 輝己 | 高際 悦子 | 高橋 栄一 |
| 高橋 久 | 高山 一実 | 手塚 典之 | 橋本由美子 | 廣瀬 路子 | 松村 隆一 |
| 山荷 伸司 | 吉川佳代子 | 和田 紘一 | | | |

他2名



子ども育成・憲章功労団体

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 宇都宮市立姿川中学校地域協議会 | 上深津囃子保存会 |
| 木幡東行政区青色パトロール隊 | 高間木スクールガード・防犯パトロール隊 |
| 下野ふれあい会 | 青少年を育てる七合地区協議会 |
| 宝木地区青色防犯パトロール隊 | 若者サポート・ハチドリ会 |

社会貢献青少年

(今年度該当者なし)

優良青少年団体

(今年度該当団体なし)

栃木県青少年育成県民会議表彰優良青少年団体の紹介 ～芳賀町ジュニアボランティア～ (令和4年度表彰)

平成27年度に芳賀町内唯一の中学校である芳賀町立芳賀中学校と協議して、中学生ボランティア組織を設立しました。芳賀中学校の全生徒を対象とし、町内の施設やイベント等でボランティア活動をする中学生を、町教育委員会が「芳賀町ジュニアボランティア」のメンバーとして認定し、支援しています。

中学生が地域の方々と触れ合い、学校や家庭ではできない体験をすることで、青少年の自主性や創造性を育むとともに、多くの地域住民が青少年と活動をすることで、地域における青少年健全育成への理解拡大を図ることを目的としています。芳賀町および町内の生涯学習団体が主催する各種行事にボランティアスタッフとして参加するなど地元に着目した活動を続けているため、地域住民からの関心も高く、厚く信頼していただいています。

これまでの活動をいくつかご紹介します。

冒険あそび場「プレーパークしもたか」は、子どもたちと一緒に遊ぶだけでなく、大人や自然、伝統文化と触れ合うなど何でもできる人気のボランティアです。栃木県県民協働推進課で行っている「ボランティア理解促進事業」出前講座で使われている冊子「はじめてのボランティア」にも、このボランティア活動をモデルとしたエピソードが掲載されています。



社会を明るくする運動では、毎年、青少年の非行・被害防止等の強調月間である7月第一土曜日に、町保護司会や町青少年健全育成推進協議会を始めとした町内関係団体と一緒に道の駅はがで街頭啓発活動を行っています。道の駅はがの来場者に積極的に駆け寄って、趣旨の説明をしながら啓発グッズの配布をする姿が見られました。

道の駅はがの主催イベントでは、ミニゲームの運営もしています。高校生ボランティア団体「芳賀町ジュニアリーダーズクラブ」やユースボランティア団体「つむぎ」と一緒に射的やまり入れなどを行います。目線を合わせてお話ししてくれるので、小さいお子様からも大人気です。



芳賀町民会館で開催される町自主事業イベントでは、受付や客席案内の他に芳賀町のマスコット「はがまるくん」に扮したり、出演した芸人さんと球拾いをしたり、様々な体験をしてもらいました。町外や県外の来場者からも「中学生がこんな活動をしているんだ」と興味を持っていただいています。

中学生が入口や受付で元気よく挨拶する姿を見るだけで、地域の方から「元気になる」「中学生が地域や町に貢献していて素晴らしい活動」とありがたい声を多数いただきます。また、小学生のころに芳賀町ジュニアボランティアと触れ合い、中学校でボランティア活動に参加し、卒業後は芳賀町ジュニアリーダーズクラブに加入して町内でボランティア活動をする生徒も多数います。

この活動が中学生にとって、ボランティア活動や地域交流の楽しさを体験するだけでなく、「自分の居場所」や「自分に何ができるか」を見つけるきっかけになっていけば幸いです。

市町村民会議活動報告

塩谷町青少年育成町民会議

塩谷町青少年育成町民会議では、毎年、12月に、「しおやの子どもを育てるフォーラム」を開催しています。今年度は、12月9日に実施しました。

この事業は、学校・家庭・地域が連携して町全体で子ども達を見守り、子ども達に「自分を見つめ、自分を大切にできる心情」と、「他を思いやり、互いに高め合う心情」を育てるため、町民への意識付けと理解促進を図ることを目的として開催しています。

第1部では、「社会を明るくする運動・家庭の日標語コンクール」の表彰式を行います。小学生中学年・高学年・中学生のそれぞれの部で、最優秀賞と優秀賞に選ばれた作品が表彰されます。今年度は4名のお子さんが参加してくださいました。

第2部では、12月の人権週間に合わせて「人権教育講演会」を行います。毎年、幅広い人権教育の分野からテーマを一つに絞り、講師をお呼びします。今年度は、「LGBTQ」を取り上げ、一般社団法人日本LGBT協会代表理事の清水展人さんにお越しいただきました。「男らしく、女らしくよりも自分らしく生きる～ひとりひとりの多様な性とLGBTQの人権～」と題し、LGBTQの基礎知識やご自身の実体験と実生活を、ありのままに、わかりやすくお話くださいました。参加者からは、「自分たちの意識を変えていかねばならない」「勇気をいただいた」など、多くの感動のお言葉をいただきました。

子ども達の成長を支える町民の心をつなげるためのきっかけのひとつとして、今後も開催していきたいと思えます。

【参考データ】

開催費用：約20万円



那珂川町青少年育成協会

那珂川町青少年育成協会では、令和3年7月からライフジャケット貸出事業を実施しています。当初は利用される方は少なかったですが、今年度は団体利用で1件、個人利用で7件の貸し出し申請があり、年々利用者が増えています。

毎年ニュース等で、青少年の痛ましい水難事故が報道されています。那珂川町も例外ではなく、過去に悲惨な水難事故が発生しています。特に、児童生徒が夏休みの7月、8月に川や海などの水辺で遊ぶ機会が増え、水難事故の危険性が高まっています。那珂川町青少年育成協会では、青少年の水難事故の発生を少しでも減らし、誰も悲しまない夏休みになるよう、ライフジャケット貸出事業を始めました。

ライフジャケット貸出事業は、当初は町民に対して実施しておりましたが、今年度は町外の方からの申し込みもありました。青少年の尊い命を守ることに、市や町の枠で線引きしてはならないという考えのもと、申し込みいただいた全ての方々にライフジャケットを貸し出してきました。人命を守る本事業を今後も拡大、継続していくことで、悲惨な水難事故を防ぎ、青少年の健全育成に寄与していきたいと思えます。

水難事故から子どもを守るために

ライフジャケット着用

那珂川町青少年育成協会

ご家族などで海水浴、魚釣り等で水辺にお出かけの際は、
ライフジャケットを着用し、命を守りましょう。

那珂川町青少年育成協会では、悲惨な水難事故を防ぎ、誰も悲しまない夏休みになるよう、水辺にお出かけの際はライフジャケットの着用を推奨しています。
ライフジャケットやヘルメットの貸し出しを行っていますので、下記までお問い合わせ下さい。

問合せ 那珂川町青少年育成協会事務局
那珂川町教育委員会生涯学習課生涯学習係
TEL 0287-92-1135 FAX0287-92-3039



栃木県青少年育成指導員会第2回自主研修会

10月12日(木)に栃木県青少年育成指導員会第2回自主研修会として施設見学を実施しました。

今回は、『令和5年度「法の日」週間行事「少年審判説明会と法廷見学」』に参加する形式で宇都宮家庭裁判所を見学しました。最初に205法廷見学が行われ、裁判官が着用する法衣を試着したり裁判官が座る席を見学したりしました。つづいて少年審判についての動画を視聴し、宇都宮家庭裁判所主任家庭裁判所調査官から改正された少年法の概要と実際に少年事件が起きた場合にどのように少年審判が進むのかについて説明がありました。その後は質疑が行われ、少年事件が減少している背景などについての質問などが出ていました。

今回は、新型コロナが感染症法上の5類に移行したことを踏まえ4年ぶりの施設見学でしたが、16名の青少年育成指導員が参加をしました。普段、裁判所の調停委員や警察の少年指導委員などをしている方もいて、少年審判について詳しく知れてよかったという感想が聞かれました。



御寄附いただきました

菊池宏行氏(東京石灰工業株式会社代表取締役社長)

当財団の評議員を務める東京石灰工業株式会社及び佐野ガス株式会社の代表取締役社長である菊池宏行氏が、50万円を栃木県青少年育成県民会議へ寄附し、令和5年12月8日(金)に栃木県庁において寄附金ならびに感謝状の贈呈式が行われました。

菊池社長には“青少年の健全育成に役立ててほしい”という思いから毎年ご寄附いただきしており、今回で14年目になります。

当日は、菊池社長から寄附金の目録が県民会議会長の福田富一知事に手渡され、会長からは感謝状が贈呈されました。



栃木県更生保護女性連盟

令和6年1月18日(木)に栃木県更生保護女性連盟の「新春のつどい」がホテル東日本宇都宮で開催され、「愛の募金」をご寄附いただきました。栃木県更生保護女性連盟の皆様方からのご支援は、少年の主張発表大会をはじめとした青少年健全育成事業で活用させていただいております。

また、「栃木県少年の主張発表県大会」出場者に対する記念品として、長年にわたり図書カードをご提供いただいております。9月16日(土)に栃木県総合文化センターで行われた県大会において、伏木会長から出場した生徒に記念品を手渡していただきました。



令和6年度 栃木県青少年育成県民会議事業予定

事業名	対 象	内 容	実施時期
1 市町村民会議との連携強化、住民啓発促進に関する事業			
(1) 青少年育成市町村民会議支援	青少年育成市町村民会議	・市町村民会議の組織強化、活動支援 ・市町村民会議対象の全体会議、研修会の開催	・全体連携会議：6月4日(火) 栃木県総合文化センター ・青少年リーダー育成事業への助成
(2) 青少年育成指導員活動支援	青少年育成指導員	・育成指導員の設置、活動支援 ・育成指導員対象の研修会開催、助成	・自主研修会(年3回) ・地区別研修会(8地区)
(3) 広報啓発	一般県民	・「青少年とちぎ」の発行 ・県民運動啓発物品等の作成 ・新規賛助会員の募集	・青少年とちぎ発行(年1回：3月) ・家庭の日啓発物(カレンダー)作成：12月
(4) 青少年育成団体連携	各青少年育成関係団体	・各青少年育成関係団体との連絡調整 ・県、市町、団体等の実施する青少年育成関連事業への共催、後援、参加	・各地区青少年育成協議会総会、研修会 ・青少年育成関係団体の連携事業開催日
2 青少年の自立と社会参加活動の推進に関する事業			
(1) 少年の主張発表大会	中学生 一般県民	・地区大会への助成 ・県大会の開催 ・全国大会への推薦	・地区大会：河宇、上都賀、芳賀、下都賀、那須、安足、南那須、塩谷 ・県大会：9月21日(土) 栃木県総合文化センター ・全国大会：11月24日(日) オリピック記念青少年総合センター
(2) 青少年育成県民会議表彰	一般県民	・青少年育成に功績のあった団体、個人等の表彰	表彰応募：5月～8月 審査：9月 表彰：11月14日(木) 県公館
(3) 親子学び合い～ネット時代の歩き方講習会～	小中学生とその保護者、及び特別支援学校等の児童生徒とその保護者	・ネット時代をよりよく歩んでいくために必要な力や環境づくりについて考える講習会の開催	講習会：5月～2025年2月 各市町小・中、義務教育学校、特別支援学校等 ※約100校での実施を予定
(4) 「とちぎネット利用アドバイザー」フォローアップ研修	とちぎネット利用アドバイザーとして認定された講師	・親子学び合い事業講師として、講座内容のより一層の定着と資質の向上	研修：全体研修2回 8月、1月を予定 ※別途、個別研修、地区別研修等実施
(5) とちぎネット利用アドバイザー養成講座	希望者	・親子学び合い事業派遣講師の養成	講座：最大4回 時期未定
(6) 青少年育成セミナー	青少年育成関係者等	・青少年を取り巻く様々な課題についての講座の実施	講座：2回(11月、1月を予定) とちぎ青少年センター
(7) ミライチャレンジプロジェクト事業	高校生・大学生・社会人(29歳以下)と企業・NPO・関係団体で組織した団体	・事業の趣旨に沿った団体を認定、活動費を助成し、指導、助言、サポートをしながら活動を支援 成果報告会を実施	通年：詳細未定 成果報告会：2月を予定
3 「心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成する県民運動」推進事業			
(1) 「家庭の日」推進	一般県民	・「家庭の日」絵日記コンテストの実施	・募集期間：7月～9月 ・入賞者表彰：11月14日(木) 県公館

栃木県青少年育成県民会議賛助会員感謝状贈呈

20年以上継続して賛助会員に加入していただいた方に感謝状を贈呈しました。

<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">個人会員</p> <p>相馬 都喜子 水沼 秀雄 宮本 英男</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">団体会員</p> <p>株式会社オヤマ 株式会社栃木放送 公益財団法人栃木県保健衛生事業団 トヨタカロー栃木株式会社 平石環境システム株式会社 平成理研株式会社</p>
<p>株式会社とちぎテレビ 菊地歯車株式会社 栃木県信用保証協会 中村技研株式会社 平成アルミ株式会社 ライオンズクラブ国際協会333-B地区</p>	

栃木県青少年育成県民会議（(公財)とちぎ未来づくり財団青少年育成課）のホームページが4月からリニューアルします。新しくなったホームページ (<https://www.tmf.or.jp/youth>) を是非ご覧ください。